

仙台駅杜の都コンサート



池辺晋一郎 (お話) 4月14日のみ出演

作曲家。日本音楽コンクール、尾高賞などの受賞の他、映画、テレビなどの附帯音楽分野での受賞も多数。2004年紫綬褒章受章。2018年文化功労者として顕彰される。主要作品は交響曲No.1～10、オペラ「死神」「高野聖」他。演劇音楽は約500本を担当した。現在、東京音楽大学名誉教授、東京オペラシティ・ミュージックディレクター、横浜みなとみらいホール館長などを務める。1996年より13年間、NHK教育テレビ「N響アワー」の司会を担当した。

写真◎東京オペラシティ文化財団 撮影：武蔵章



キハラ良尚 (指揮)

東京藝大附属音楽高校ピアノ科在学中、ロームミュージックファンデーション主催の指揮者クラスに選抜され、小澤征爾氏に師事。後に氏のアシスタントを務める。卒業と同時に渡欧。ベルリン芸術大学大学院指揮科研究課程修了。ベルリン・ドイツ交響楽団、ポーランド国立放送交響楽団、東京都交響楽団、ウィーン楽友協会合唱団などを指揮。第25回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。東京混声合唱団常任指揮者、国立音楽大学非常勤講師。



守谷由香 (ソプラノ) 4月12日のみ出演

武蔵野音楽大学卒業。同大学院及び二期会オペラ研修所修了。2006年度青年交流事業「日露学生フォーラム」の音楽交流代表としてモスクワに派遣される。これまでに二期会「ウィーン気質」ペピ、日生劇場「フィガロの結婚」ケルビーノ、「ヘンゼルとグレーテル」ヘンゼルの他、同「ルサルカ」「魔笛」、いづみホール「ボッペアの戴冠」アモーレなどに出演。2018年には「NHKニューイヤーパーラコンサート」初出演。二期会会員。



糸賀修平 (テノール) 4月12日のみ出演

武蔵野音楽大学卒業。同大学院及び新国立劇場オペラ研修所修了。伊・独で研鑽を積む。イタリア各地の歌劇場に出演、またハンガリー政府の招待によりジュールオーケストラと共演。国内では新国立劇場「フィガロの結婚」「ファルスタッフ」、二期会「ダナエの愛」メルクール、「こうもり」アルフレード他、ロームシアター京都「フィデリオ」ヤッキーノ、チョン・ミョンフン指揮「蝶々夫人」ゴローなどに出演し、好評を博す。二期会会員。



神谷未穂 (ヴァイオリン) 4月13日ソリスト

桐朋学園、ハノーファー音大、パリ国立高等音楽院卒業。北九州国際音楽祭TOTOクフモプライズ室内楽第1位、ティボール・ヴァルガ国際ヴァイオリンコンクールにてバガニーニ賞。磯絵里子とのユニット「デュオ・プリマ」でも活躍。NHK仙台放送局「もりすた!」レギュラー出演中。2011年度宮城県芸術選奨受賞。現在、仙台フィルコンサートマスター、横浜シンフォニエッタコンサートマスター、千葉交響楽団特任コンサートマスター、宮城学院女子大学特命教授。

写真◎アールアンフィニ



吉岡知広 (チェロ) 4月13日ソリスト

仙台市出身。桐朋女子高校音楽科(共学)を経て桐朋学園大学音楽部門を卒業。その後ドイツ、ライブツィヒ音楽演劇大学大学院に在学するとともに、名門ライブツィヒ・ゲヴァントハウスオーケストラと学生契約をし在籍。卒業後は同オーケストラアカデミーに在籍した。第9回ビバホールチェロコンクール第4位入賞。チェロを金木博幸、青木十良、藤原真理、毛利伯郎、クリスティアン・ギガーの各氏に師事。現在、仙台フィルハーモニー管弦楽団に首席チェロ奏者として在籍。



仙台フィルハーモニー管弦楽団

仙台フィルは、1973年に「宮城フィルハーモニー管弦楽団」として誕生。1983年4月から芥川也寸志が音楽総監督として現在の礎を築き、外山雄三音楽監督、バスカル・ヴェロ常任指揮者のもとアンサンブルに磨きをかけてきた。2018年度からは飯守泰次郎が常任指揮者に就任し、さらに音楽的深化を推し進めている。

2011年3月11日に東北地方を襲った東日本大震災による影響で、仙台フィルは数ヶ月にわたり演奏活動を中止せざるを得ない状況となったが、「音楽の力による復興センター・東北」と協力し音楽を被災者のもとに届けながら絆をつなぐ活動を行った。現在、日立システムズホール仙台コンサートホールでの「定期演奏会」のほか、「仙台国際音楽コンクール」「仙台クラシックフェスティバル(せんくら)」でも広く市民に親しまれ、「杜の都」の音楽文化における中心的役割を担っている。

公益財団法人東日本鉄道文化財団が主催する企画展のご案内

「ルート・ブリュック 蝶の軌跡」

東京ステーションギャラリー (JR東京駅 丸の内北口 改札前)

2019年4月27日(土)～6月16日(日)

休館日：4月29日、5月6日、6月10日をのぞく月曜日、5月7日(火)

開館時間：10:00～18:00(金曜日は20:00まで/入館は閉館の30分前まで)

入場料：一般=1,100円 高校・大学生=900円 中学生以下無料

フィンランドの国民的セラミック・アーティスト、ルート・ブリュックの日本初の本格的な回顧展。



《ライオンに化けたロバ》1957年
タピオ・ヴィルカラ ルート・ブリュック財団蔵
Tapio Wirkkala Rute Bryck Foundation's Collection /
EMMA - Espoo Museum of Modern Art
©KUVASTO, Helsinki & JASPAR, Tokyo, 2018 C2531

主催：公益財団法人東日本鉄道文化財団 後援：東日本旅客鉄道株式会社 音楽監督：池辺晋一郎

お問い合わせ：東日本鉄道文化財団 Tel: 03-5334-0623 <http://www.ejrcf.or.jp>

※諸事情により、出演者・曲目などが変更になる場合がございます。また、ご来場者が多数の場合、入場規制させていただきます。予めご了承ください。今後の公演情報は随時、公益財団法人東日本鉄道文化財団のホームページに更新いたしますのでご参照ください。

<http://www.ejrcf.or.jp/concert/index.html>

公益財団法人東日本鉄道文化財団

